

「脅かされる少女たちの権利

Sexual Reproductive Health and Rights

(性と生殖に関する健康と権利)

～今、求められていることは？～」

参加無料

10.11(土)

10:30～12:00

登壇者

福田友子（ふくだ・ともこ）

国際家族計画連盟（IPPF）

東・東南アジア・大洋州地域事務局長



テーマ

6才になれば就学し、さまざまなことを外界から吸収することができる… 私たちが当たり前だと思うことが、残念ながら非常に難しい国や地域がまだたくさんあります。

好きな人、自分が選んだ人と結婚するかしないか。子どもを産むか産まないか、産むとしたらいつ何人産むか。人生を大きく左右する決断を自らおこなうことができない女性や少女が数多くいます。

今回のオンラインセミナーでは、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）といわれる権利が、特にアジア大洋州地域でいかに少女たちから奪われているのかという現状に加え、今どのような対策が必要とされているのかについて考えます。

お申し込みはこちらより <https://kokurenwomengirlsday2025.peatix.com>

メールでお申し込みの場合は、下記のお問い合わせ先まで。

参加費は無料ですが、チケットの申し込みと合わせてご寄付いただけます。



【主催・お問い合わせ】

認定NPO 法人国連ウィメン日本協会

横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜1階

Tel/Fax: 045 869 6787

Email:unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

【共催】

公益財団法人 日本女性学習財団

東京都港区芝公園2-6-8

日本女子会館5階

<https://www.jawe2011.jp>

登壇者

福田友子氏（ふくだ・ともこ）

国際家族計画連盟（IPPF）
東・東南アジア・大洋州地域事務局長

プロフィール

IPPF 東・東南アジア・大洋州地域事務局（ESEAOR）、兼南アジア地域（SARO）の地域事務局長として、域内32カ国の加盟協会を支援する活動をマレーシア・クアラルンプールから率いています。IPPFに着任する前は公益財団法人ジョイセフのアドボカシーマネージャーとして国際保健、SRHRやジェンダーの平等、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ等について政策提言などをしてきたほか、「SDGs市民社会ネットワーク」のジェンダーユニットの幹事団体としての任務も務めました。

国際家族計画連盟（IPPF）とは

国際家族計画連盟（IPPF）は世界のすべての人々が差別されることなく、自分の健康とセクシュアリティについて自由な選択ができる社会を目指し、性と生殖に関する健康と権利（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ: SRHR）の情報とサービスを提供しています。

国連国際ガールズデー（10月11日）

2012年以降、「国際ガールズデー」にあわせて少女の人権について考え、教育を受ける権利やエンパワーメントを推進するためのさまざまなイベントが世界各国で開催されています。武力紛争や人道危機が起きるとジェンダーに基づく暴力(GBV)が増加し、少女たちは性的虐待、身体的暴力、児童婚、虐待、人身取引などの危機にさらされ、命を落とす少女もあります。紛争地域に暮らす思春期の少女たちは学校に行けなくなる率が90%も増加し、成人した時に仕事に就いて経済的に自立する機会が奪われています。

UN Womenは、このような少女たちの状況を改善するために様々なプログラムを展開しています。

国連ウィメン日本協会とは

<https://www.unwomen-nc.jp/>

UN Womenと承認協定を結ぶ1国1委員会の国内委員会。寄付を募る日本で唯一の民間団体です。UN Womenの理念や、世界の女性の現状・課題を社会に広報するとともに、UN Womenに対する募金、寄付活動を推進。世界の女性と少女が可能性をひらき、希望の未来を手にする社会の実現を目指し、UN Womenの活動を支援しています。

寄付はこちらより



<https://www.unwomen-nc.jp/support/donation/>

UN Women (国連女性機関)とは

<https://www.unwomen.org/en>

UN Women（国連女性機関）は、女性の権利、ジェンダー平等、すべての女性と少女のエンパワーメントを推進するために存在します。ジェンダー平等に関する国連の主導機関として、私たちはジェンダー格差を解消し、すべての女性と少女にとって平等な世界を築くために、法律、制度、そして、社会的な行動やサービスを変革していきます。私たちUN Womenは、いつでも、どこでも、女性と少女の権利を世界の進歩の中心に据えています。なぜなら、ジェンダー平等は私たちの仕事であるだけでなく、私たちの存在意義そのものだからです。

日本から世界の女性と少女を支える
「国連ウィメン・マンスリーサポーター」
になりませんか？ <https://www.unwomen-nc.jp/support/donation/#maitsuki>

